

【エピソード記録 No. 3 : お花からジュースがでてきたよ】

2歳児 ちゅうりっぷ組 (2022年4月)

外遊びが大好きな2歳児さん。園庭に大きなブルーシートを保育者が広げると「待ちました!」「何がはじまるの?」と言わんばかりに、目をキラキラさせてちゅうりっぷ組さんが集まってきました。お皿に入ったたくさんのお花や花の実を優しく手に取り、お花や実をつぶしてしまわないように大切そうにお皿にそっと並べている子もいました。また別の子は、花の実を指で「ぎゅっ。」とつぶして中身を確認しようとする姿も見られました。保育者がお皿に少し水を入れて花殻をすり鉢ですりすりしてみせると「ピンクになった!」「ジュースが出てきた!」と子ども達は大喜び。花殻や花の実、砂、水溜まりの水と次第に自分の好きな遊びや、やりたいことを見つけて草花遊びが広がっていきました。にこにこNちゃんが寄ってきて、「先生のお誕生日だよ。」「はい、おめでとう。」とお花をローソクに見立てた素敵な誕生ケーキをプレゼントしてくれました。



<先生からひとこと>

言葉もある程度わかってきて知識も増えていく2歳児。手先も器用になり、遊びの世界が広がってきました。お皿で作った色水をこぼしながらも、容器に注いだり、ペットボトルに入れて混ぜる・・という遊びを繰り返し楽しんでいました。「水を混ぜるとどうなるのかな?」「砂をいれるとどうなるのかな?」子ども達の心のつぶやきの声が聞こえてくるようでした。

今回、花殻や花の実を使った草花遊びを通して色々な物の性質を知るこの経験がこの時期の子ども達には大切なことを改めて感じました。

「自分でやりたい。」という気持ちを汲みながら、子ども達が自分で進んでやりたくなる援助をこれからも考えていきたいなと思いました。

(記録：黒木)